

記載例

活動計画書

令和7年2月15日 策定
(〇年〇月〇日 第〇回改定)

〇〇の森を守る会

里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 活動組織名

〇〇の森を守る会

※複業実践型を行う場合：（法人番号

）

※複業実践型に取り組む場合は、法人番号も記載すること（番号がない場合は空欄で可）。

2. 活動組織の事務所の所在地

△〇郡〇〇町△番地〇

注：（様式8号）活動組織の規約第1章総則（事務所）と同じ、代表者宅が事務所の場合はその住所地番を記載。

3. 取組の背景

活動する森林は、昭和40年代に植えられたカラマツ林で、将来炭鉱の坑木と考えていたが、燃料の転換に伴う影響による炭鉱閉山で、手入れが行き届かず長期間放置されていた。このため、木は密生により細く、風倒の被害木の発生も見られが荒れた森林になっていたことで、こ放置したままでは病虫害の発生や山崩れの危険性もあるので、役場や地域住民の話し合いにより、地域住民や森林所有者が活動組織を立ち上げ、多面的交付金で風倒木の除去、つる切り除伐等で、山の手入れを進めることで、健全な森林に育てることとした。この事業終了後の活動については、3年間の活動中に検討を重ねて、自立のための体制を決める。

※ 対象となる里山林がある地域の概要、本交付金の活用に至った背景、地元の自治体や自治会・町内会等地域のニーズへの対応、地域の活性化への寄与等について記載。

4. 取組の概要

豊かな生き物を育む森を目指して整備を進めております。今回は活動面積を広げたことで、交付金事業を導入して活動することになりました。活動エリアは現在の活動区域の北側に位置し、この区域内は倒木が多いことから、過去に設置した作業路を補修しながら、倒木を中心に整理伐を進め、生産された木材は、木道の補修材、薪、しいたけ原木等に有効に利用する。伐採等の作業安全確保を進めるための作業道。歩道の下草刈り、危険木の除去を行って、近隣の子供や父母を対象とした親子による「森林との観察会等」を開催し、森林の大切さを学習し

5. 構成員の概要

- ・北海太郎：〇〇市、会社員（△◇会社勤務）資格：伐木、刈払機
- ・伊藤裕文：△△町、無職（元〇〇会社）資格：大型特殊免許保有
- ・◇◇◇◇：△△町、主婦、資格：伐木、
- ・□□□□：△△町、農業、資格：伐木、刈払機
- ・△〇〇〇：△△町、農業、資格：伐木、刈払機

※構成員の人数、年齢層、居住地域（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の属性について記載。

6. 年度別スケジュール

区分		7 年度	8 年度	9 年度
1. 主たる活動				
A－1. 地域活動型 (森林資源活用)		間伐、整理伐、集材・運搬、作業道・歩道の整備、モニタリング調査 3.8ha	間伐、整理伐、集材・運搬、作業道・歩道の整備、モニタリング調査 3.8ha	間伐、整理伐、集材・運搬、作業道・歩道の整備、モニタリング調査 3.8ha
	資源活用 の取組	伐採木を搬出し、薪づくりを行い、地域で利用。	伐採木を搬出し、薪づくりを行い、地域で利用。	伐採木を搬出し、薪づくりを行い、地域で利用。
A－2. 地域活動型 (竹林資源活用)				
	資源活用 の取組			
B. 複業実践型		間伐木伐採・作業道の整備・集材・運搬・モニタリング調査 4.5ha	間伐木伐採・作業道の整備・集材・運搬・モニタリング調査 4.5ha	間伐木伐採・作業道の整備・集材・運搬・モニタリング調査 4.5ha
	資源活用 の数値目標 (搬出目標 (間伐率等))	470 本/ha (間伐率 7 %)	880 本/ha (間伐率 14 %)	750 本/ha (間伐率 14 %)
※ 間伐等 (除伐・枝打ちを含む。) 実施面積 (A + B)		5.3 ha	5.3 ha	5.3 ha
2. 従たる活動				
C. 機能強化		300 m	250 m	150 m
		8.3 ha	8.3 ha	8.3 ha
D. 関係人口創出・維持		地域外関係書に対し比較的 安全な手のこによる倒木除 去やツルきり除伐の体験 後、活動組織との意見交換 会の等の実施 (2回)		
E. 資機材等整備		刈払い機 2 台	チェーンソー 2 台	
F. 活動推進費		活動計画の検討、境界調査、林況調査、会議等	活動計画の検討、境界調査、林況調査、会議等	活動計画の検討、境界調査、林況調査、会議等

※1 A. 地域活動型は、年度毎に作業を行う面積と資源活用の実施内容を記載する。

※2 B. 複業実践型は、年度毎に作業を行う面積と「搬出目標 (間伐率)」欄に、各年度ごとの搬出量の目標を記載する (単位は適宜修正して差し支えない)。

※3 C. 機能強化の欄に記載する値のうち、延長には、森林調査・見回りを含めない。また、面積は、併せて行う A. 地域活動型及び B. 複業実践型の対象森林の面積の合計とする。

※4 D. 関係人口創出・維持は、年度毎の実施内容を記載する。

※5 E. 資機材等整備は、年度毎に整備する資機材を記載する。

※6 F. 活動推進費は、年度毎の実施内容を記載する。

7. 活動の目標と活動結果を測定するためのモニタリング調査方法

対象森林	区分	目標	モニタリング調査方法
○林班○小班	地域活動型	混みあった林をすっきりして、健全な状態にしたい。	100㎡の調査区 相対幹距比2ポイントアップ
○林班○小班	複業実践型	混みあった林を間伐して間伐材を利用したい。間伐利用材積3年間で240㎡	伐採木の搬出利用量を集計

※1 目標の設定及びモニタリング調査方法の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。

※2 対象となる森林が複数あり、それぞれの森林で異なるモニタリング調査を行う場合は、それぞれ行を分けて記載すること。

8. 年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

年度	講習の名称	講習の内容
7 年度	刈払い機講習、チェーンソー講習	構成員全員参加による座学及び現地実習
8 年度	刈払い機講習、チェーンソー講習	構成員全員参加による座学及び現地実習
9 年度	刈払い機講習、チェーンソー講習	構成員全員参加による座学及び現地実習

9. 安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

安全装備：防護服、防護手袋、ヘルメット、チャップス、防虫ネット、応急用薬品等
 傷害保険：NPO活動総合保険

10. 4年目以降の活動（森林管理）計画

森林所有者及び地域住民等の協力により、森林管理活動を継続しながら地域の子供等を対象とした利活用のイベント等も実施する計画を予定している。

11. 活動の継続のための取組

・活動員の確保等：募集チラシの公共施設等に配布、HPやSNS等による電子媒体での活動状況の発信により若い会員の確保に努める。
 ・活動継続の取組：企業等に協力を要請し、会員・賛助会員を増やして会費を増やすことで活動の継続を図る。

※ 本交付金の交付が終了した後も活動を継続するために取り組んでいること（活動に参加する者や活動に必要な経費の確保の取組等）を記載すること。

12. その他

(1) 収入

会費：会員10人×年6,000円＝60,000円 牧・檜木の販売収入：200,000円

※ 会費、林産物収入など里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金以外の収入を記載すること。

(2) 委託

・委託先の名称 ○○森林組合
 ・委託先の連絡先（電話番号等） 090-232-4321
 ・委託の時期 令和7年6月頃
 ・委託の内容（作業を委託する森林の位置（地番、林小班等）、委託する作業の内容及び面積等）
 林班○小班内にある10本の風倒木が掛かり木で、径級も太いため構成員が伐倒するのに危険なので、伐倒等を森林組合に委託する。
 ・委託の金額（予定額）
 50,000円

※ 活動計画に記載した取り組みを外部委託する場合は記載すること。

13. 計画図（協定書における協定の対象となる森林の計画図）及び現地の写真

別紙参照

※1 対象森林の森林計画図を添付すること。森林計画図が存在しない場合又は入手が困難な場合は、対象森林の位置及び面積が分かる縮尺5,000分の1以上の図面を添付すること。

※2 添付する図面には、森林経営計画が策定されている区域を明示した上で、年度毎に計画している取組の範囲を図示すること。

※3 機能強化を行う場合は、対象となる路網や鳥獣被害防止柵の位置、延長を図示すること。

※4 現地の写真は、取組を行う対象森林の現況（遠景、近景）がわかる写真を添付すること。